

令和4年度 学校評価「学校関係者評価書」

1 学校の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の展開による「確かな学力」の習得
- 自他のよさを認め合う、思いやりの心を基盤とした「豊かな心」の醸成
- 心と体を行ったとして捉えた健康・体力の保持増進による「健やかな体」の育成
- 「チーム学校」で取り組む「職員の資質向上」の推進
- 地域に根ざした「開かれた学校」の創造
- 教育の質を向上させる「教育の情報化」の実現

2 課題と改善策 ※ 評価の目安 4=80%以上 3=60~79% 2=40~59% 1=40%未満

	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価結果と改善方策	評価	評価結果と改善方策
確かな学力	1 学習指導の充実	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット（ナビマ）を使い基礎・基本の定着を図った。 ・ 定期的に情報交換を行い、支援の方向性について共通理解を図った。 ・ 学校支援コーディネーターを連携し、地域の人材活用を進めることができた。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室内のデジタル化が確実に進んでいると参観を通して感じた。 ・ 特別支援学級で学んでいる児童が生き生きとしている。 ・ 南方の偉人（オリンピック選手等）を活用した授業を検討してほしい。
	2 家庭学習の充実	2.8		3.5	
	3 特別支援教育の充実	3.0		3.5	
	4 外国語科、外国語活動等の充実	3.3		3.5	
	5 国際理解教育の充実	2.8		3.0	
	6 郷土教育の充実	2.7		2.5	
豊かな心	1 道徳教育の充実	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月のアンケートを基に早期発見、早期対応に努めている。SST（仲間づくり）を進めていく。 ・ 読書月間の取組で目標読書冊数は大きく超えている。今後も意欲の向上に努める。 ・ 日常的に環境を意識した取組を行う。 	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 花壇がいつもきれいである。 ・ 南方小の児童の挨拶がよいとほめてもらっちゃった。 ・ 心も体も一人一人確実に伸びてきていると思う。 ・ 環境教育は、物を大切にすることから始めていくのが基本と考える。 ・ 図書室の環境がよく整備されている。
	2 生徒指導の充実	3.0		3.3	
	3 人権教育の充実	3.2		3.3	
	4 読書活動の充実	3.3		3.3	
	5 特別活動の充実	3.3		3.3	
	6 環境教育の充実	2.7		2.7	
健やかな体	1 保健指導の充実	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康に関連付けた指導を行った。今後は家庭とも連携した取組につなげていく。 ・ 栄養教諭との指導を行った。給食指導の在り方について研修を深めていく。 ・ 早朝ボランティアをはじめ、緑化に積極的に関わる取組を行っていく。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ プール横からの農道は、安全な体力づくりの場所として有効であるため、草刈り作業など地元住民の協力がありすばらしい。 ・ 野菜を育てて収穫を喜び、食すという取組も検討してほしい。
	2 安全指導・防火防災対策の充実	3.4		4.0	
	3 給食・食に関する指導の充実	3.3		3.7	
	4 体力・気力づくりの推進	3.6		4.0	
	5 環境衛生の充実	3.5		4.0	
職員の資質向上	1 業務改善の推進	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で抱え込まず複数で対応する等、作業分担し負担軽減を進める。 ・ 体罰における研修を行い、日頃の指導を見直し、指導観の根本的な見直しを行うとともに、児童保護者からの相談窓口等の体制を確立していく。 	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革は口で言うのは簡単であるが、健康に留意して取り組んでほしい。 ・ 一人一人の児童の実態に合わせて指導をしていただいていることに心から感謝をしたい。
	2 不祥事根絶	3.5		3.7	
	3 研修の充実	3.2		3.5	
開かれた学校	1 子供のよさの発信	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ MBCラジオ作文への応募及び放送数は昨年より上回っているが、学年により差があるため、改善していく。 ・ 南方竹太鼓の親子体験は好評だった。児童数減から参加学年も含め、体制の見直しを行う。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作文指導と南方竹太鼓は、地域の誇りである。可能な支援は全面的に協力したい。遠慮なく声をかけてほしい。 ・ ラジオ作文は地域の方々の励みになっている。
	2 特色ある教育活動の推進	3.5		4.0	
教育の情報化	1 推進体制の整備	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員のナビマの研修を行った。今後は操作等についての研修を行い、子供たちへの対応がスムーズにできるようにしていく。 ・ 3年以上の学年で日常的にタブレットを使う学習ができ、操作にも慣れてきている。今後は、著作権やモラルの指導を行う。 	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参観で子供たちがタブレットを使いこなしている姿をみてびっくりした。 ・ タブレットの活用が図られていると感じた。
	2 情報教育の推進	2.9		3.3	
	3 教科指導におけるICT活用の推進	3.0		3.5	
	4 校務の情報化の推進	3.6		4.0	

3 次学期（年度）に向けた取組

- 地域の人材活用については、自己評価、学校関係者評価いずれも課題として挙げられている。コロナウィルス感染状況を踏まえ、積極的に活用を図っていく。
- 学校版ISOや清掃ボランティア等の取組を見直し、環境教育の充実に努めていく。